

農

自身の農業を見つめなおす
業振興講演会が開催されました

2/14

2月14日(火)「北海道水田作地帯におけるスマート農業実践の現状と課題」と題した、講演会が行われました。

講師には国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 水田作研究領域 村上則幸氏をお招きし、水田作地帯における課題や、農薬散布にドローンを使用するなどのスマート農業の普及についてなど講演していただき、参加者は自分の農業に活かせるよう真剣な様子で話を聞いていました。



沼

さらなる農業経営の発展を目指し
田町農業法人会が発足しました

2/14

2月14日(火) 町内の農業法人が連携し、農業経営の発展に取り組む「農業法人会」が発足しました。

設立総会では、会長に須網農場の須網賢一代表取締役が選出されました。

今後は法人化を目指す個人農家の入会者を増やし、より強い沼田町の農業を目指していく方針で、須網会長から「現在町内の後継者のいない農家の所有する農地が1000haほどある。より新規就農しやすい体制を整えて農地を守っていきたい。」と話されました。



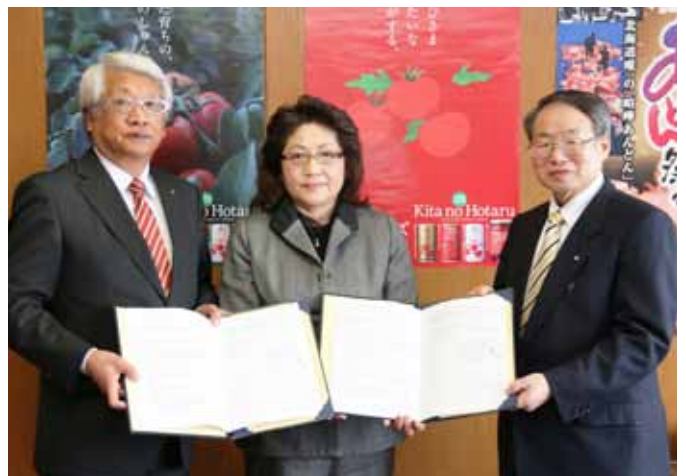
沼

より安心できるまちへ
田町地域見守り活動に関する協定書の締結式

2/15

2月15日(水) 旭川地方道新会深川留萌地区会々長の倉本茂子さん、北海道新聞墓田販売所の墓田邦晃さんが訪れ、「沼田町地域見守り活動に関する協定書」の締結式が行われました。

この協定は、住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、孤立の防止や支援の必要な方を把握し、地域福祉の向上を図ることを目的としており、金平町長は「行政だけでは手の届かないときがある。この協定によりさらに住みやすい町になればと思います。」と話され、墓田さんは「地域のために協力させていただきます。」と話されました。



▲左から 金平町長、倉本会長、墓田さん

地

いつまでも健康でいるために
地域あんしんセミナーが開催されました

2/
18

2月18日（土）沼田町地域あんしんセミナー「家族で治そう、認知症」が開催されました。

このセミナーは、今年の7月3日オープン予定である「沼田町地域密着多機能型総合センター（暮らしの安心センター）」の第1期工事が2月14日に完了したことを記念し、今一度「自身の健康づくり」を考える機運を高めるため開催されたもので、118名の町民の方が参加しました。



講師には、認知症ケアの第一人者である国際医療福祉大学大学院の竹内孝仁教授をお招きし、自宅や施設でできる認知症予防や治療について、事例を交えながら講演していただきました。

講演会のあと、住民ワークショップを開催し、参加者は6グループに分かれ、日頃の認知症に対する悩みや不安などを話し合っていたいただき、疑問などについて竹内先生にアドバイスを受けました。



高

終活について考える
高齢者元気100倍！教室

2/
24

2月24日（金）「高齢者元気100倍！教室」が行われました。

今回は講師にやわらぎ斎場の上級終活カウンセラーである、大塚周雄さんをお招きし、「終活のはなし」と題して講演をしていただきました。

講演では代表的な葬儀トラブルやその防止方法、葬儀の規模ごとのメリット・デメリットなどについて説明をしていただきました。

最後に大塚さんより、「人生の終焉を意識することで生きている時間が愛おしく、大切に思えるはずです。」とのお話があり、参加者は興味深く耳を傾けていました。



輝

大雪のなかでもげんきいっぱい！
け雪のまちフェスタが開催されました

2 / 25

2月25日（土）雨竜川総合運動公園パークゴルフ場で「輝け雪のまちフェスタ2017」（同実行委員会主催）が開催されました。

当日はあいにくの空模様でしたが、参加された子ども達は、会場に設置された大型滑り台やストラックアウトなどのアトラクションで悪天候を吹き飛ばすように楽しく遊びました。

また、屋台での100円カレーや雪ん子焼きの販売、雪中米などが当たる大抽選会が行われ、会場は大変賑わいました。



ひな祭りに合わせて

と

っておき豆工房より桜餅のプレゼント

3 / 3

3月3日（金）ひな祭りのこの日、特別養護老人ホーム旭寿園と養護老人ホーム和風園に桜餅が届けられました。

とっておき豆工房（横山喜代子代表）の皆さんが、毎年ひな祭りに合わせて入所者の方に食べてもらいたいとプレゼントしているものです。

今年も両園に約300個もの桜餅をいただき、「毎年皆さん楽しみにしています。ありがとうございます。」と旭寿園園長からお礼が述べられ、とっておき豆工房の皆さんは「皆さんに喜んでいただいて私達も嬉しい。」と話されました。



特産品を有効活用！

3

町特産品活用事業が開催されました

3 / 8

3月8日（水）小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会主催により3町特産品活用事業が開催されました。

講師にはフードプロデューサーとして、松田真枝先生をお招きし、3町の特産品を活用した料理を提案していただきました。

料理は小平町のルルロツソ（パスタ用強力粉）・ほたて、幌加内町のそば焼酎・そば粉、沼田町のトマトケチャップ・トマトソースなどを活用したもので、調理された特産品に参加者は「それぞれの相性がよくて美味しい。」と話されてました。



表彰

沼田厚生クリニック鳥本院長に感謝状が贈呈されました

2月17日（金）沼田厚生クリニックの鳥本院長へ沼田警察署の岡田署長から感謝状が贈呈されました。

鳥本院長は、平成22年から現在まで沼田警察署の検案嘱託医に従事しており、多年にわたり警察に多大な協力をしたことから感謝状が贈呈されました。



表彰

絵内勝己氏に消防協力者表彰が贈られました

3月7日（火）消防協力者表彰が行われ、絵内勝己氏（北竜3）に深川地区消防組合岡部消防長から感謝状が贈呈されました。

この表彰は消防行政に対し功労のあった個人及び団体に贈られ、長年、消火栓の除雪にご尽力され、消防施設の維持管理に努められたことが評価され感謝状が贈呈されました。



東日本大震災復興支援

第 5 回チャリティーおんがくの集い

3 / 11

3月11日（土） 町民会館で「東日本大震災復興支援 第5回チャリティーおんがくの集い」が同実行委員会の主催により開催されました。

音楽を通じて東日本大震災の復興を支援しようと、今回5回目の開催となるおんがくの集いでは、沼田吹ガールズによる演奏や町内事業所から自慢の歌声、芸が披露されるなど、会場は大勢の声援・笑いで盛り上がりました。

なお、この日の収益はコンサート経費を差し引いて、全て「日本災害復興支援特別基金」、学生ボランティア団体「みちのくキッズ」へ寄付されました。



新たな一歩を

沼 田中学校第49回卒業証書授与式

3 / 12

3月12日（日） 沼田中学校（小川勉校長）で49回目となる卒業証書授与式が執り行われました。

沼田中学校を巣立つ22名に小川校長から卒業証書が渡されると、緊張した表情や涙を浮かべる生徒もいました。

小川校長から「沼田中学校で頑張ったことを忘れず、仲間を大切にして、これからも頑張ってください。」と式辞を述べました。

式の最後には卒業生と在校生による合唱を行い、それぞれの思い出を胸に、3年間通い慣れた学び舎を巣立っていきました。

